

情報工学専攻 アドミッション・ポリシー

① 基本方針

情報工学分野における高度で深い学識を身につけ、さらに自らの得意領域における研究テーマに創造的なアプローチで取り組むことで、実社会で要求される情報工学関連の諸問題を解決できる能力を有する高度専門技術者、また知識基盤社会をリードする高度で知的な素養と社会性を備えた技術者、および研究機関や大学等における研究者の養成を目的としています。
そのために、以下のような資質・能力・意欲を持った学生を受け入れます。

② 求める人材像と学力の3要素

求める人材像		思考力		
		知識 技能	判断力 表現力	主体性 多様性 協働性
自ら形成した得意分野を持ち、新たな課題を発見し解決して行こうとする研究意欲のある人	→	△	◎	○
社会の新たな要求に対応できる知識・能力を身につけたいという強い意欲を持つ社会人	→	○	△	◎
専門知識と基礎的な研究能力を生かして新しい研究分野を先導する意欲のある人	→	◎	○	△
専門分野の知識に基づいて自分の考えを的確に表現し、他者と協働できる人	→	○	△	◎

③ 学力の3要素と求める学習成果

学力の3要素		求める学習成果						
知識・技能	→	学力試験	成績証明書	推薦書	業務経歴書	口述試験		
思考力・判断力・表現力	→	学力試験	小論文	面接	成績証明書	研究計画書	口述試験	
主体性・多様性・協働性	→	小論文	面接	推薦書	研究計画書	口述試験		

④ 求める学習成果と入学者選抜方法

入学者選抜方法	学力試験	小論文	面接	成績 証明書	推薦書	研究 計画書	業務 経歴書	口述試験
推薦入試	—	—	◎	◎	○	—	—	—
一般入試	◎	—	○	○	—	—	—	—
社会人入試	—	◎	—	—	—	○	△	◎

⑤ 入学前に習得すべき内容・水準

- ・情報工学及びその基礎となる数学に関する学部レベルの専門基礎知識
- ・学術論文を読み解くために必要な英語読解力
- ・自らの得意分野における学部レベルの専門知識
- ・データ処理、講演発表、論文作成に必要なコンピューターリテラシー

※ 記号(◎, ○, △)は重要度の順序を表しています。